とっとり県民カレッジ連携講座

第30回鳥取県図書館大会
「いま改めて考える『読書』の未来と可能性」

急速に変化するデジタル社会において、これから「読書」にはどのような役割が期待されるのでしょうか。
生活様式の変化や「GIGA スクール構想」の進展、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の成立等の読書を取り巻く環境の変化も踏まえ、これからの未来へつながる新しい「読書論」について考えます。

日時：令和7年 8 月 18 日（月）10:00～16:30（受付 9:30～）

会場：米子コンベンションセンター 小ホール他　米子市末広町 294　電話：0859-35-8111

参加費　鳥取県図書館協会　会員：無料／会員外：500 円
※詳しくは裏面をご覧ください。

【会場参加】
定員 300 名
【オンライン参加】
最大 300 人まで
後日の配信なし
個人視聴のみ

開会行事　10:00～10:15　会場：小ホール
基調講演　10:15～11:45　会場：小ホール

「若者の読書離れは本当なのか？
データから見る実態と、実際によく読んでいる本」

講師：飯田 一史 氏（出版ジャーナリスト・ライター）

【講師プロフィール】
1982年青森県むつ市生まれ。中央大学法学部法律学科卒。グロービス経営大学院経営研究科経営専攻修了（MBA）。出版社にてカルチャー誌や小説の編集に携わったのち、独立。ウェブカルチャー、出版産業、子どもの本、マンガ等について取材、調査、執筆している。JPIC読書アドバイザー養成講座講師。 電子出版制作・流通協議会「電流協アワード」選考委員。インプレス総研『電子書籍ビジネス調査報告書』共著者。著書に 『町の本屋はいかにしてつぶれてきたか』『「若者の読書離れ」というウソ』『マンガ雑誌は死んだ。で、どうなるの？』『ウェブ小説30年史』ほか。

特別報告・事例発表　13:15～14:45　会場：小ホール

「読書と人とをつなぎ・つながる取組最前線 ～子どもの読書環境を支える現場はいま～ 」

報告者 福本 哲也 氏（鳥取県教育委員会事務局 社会教育課長）
事例発表者 竹本 幸子 氏（北栄町立北条こども園 園長）
事例発表者 砂流 誠吾 氏（日野町立日野学園 校長）
事例発表者 髙山 紫織 氏(学校法人翔英学園米子北高等学校 学校司書)

分科会　15:00～16:30　会場：当日小ホール入口に掲示します

	テーマ		講師・発表者・対談者
1	発進！移動図書館車	発表者	中島 泉 氏（鳥取市立中央図書館 館長） 小椋 智子 氏（町立みささ図書館 副館長） 熊沢 菜穂子 氏（米子市立図書館 課長補佐） 永井 美里 氏（大山町立図書館 館長補佐）
2	電子書籍の未来 ～読書バリアフリー、教育現場編～	発表者	西田 和之 氏（株式会社紀伊國屋書店 デジタル・流通事業本部 デジタル情報営業部長） 金子 哲弥 氏（株式会社図書館流通センター 電子図書館推進部長） 瀬尾 昌也 氏(株式会社メディアドゥ IP・ソリューション事業本部 出版ソリューション推進部 電子図書館推進課 シニアマネジャー)
3	大人も本を読んでいないと いわれるけれど・・・。	対談者	奈良 敏行 氏（定有堂書店 店主） 三砂 慶明 氏（読書室 主宰）
4	NPO本の学校・特別分科会 「ニジノ絵本屋の物語～本屋さんで、絵本の出版社で、絵本パフォーマー～」	講師	いしい あや 氏（ニジノ絵本屋 代表）
5	図書館応援団大交流会	－	参加を希望する応援団の皆様 ※応援団活動に関心のある方もご参加いただけます。

≪問合せ先≫ 鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内）
電話：0857－26－8155／ﾌｧｸｼﾐﾘ：0857－22－2996／メール：toshokan@pref.tottori.lg.jp
主催：鳥取県図書館協会／共催：鳥取県書店商業組合 NPO 法人本の学校 鳥取県学校図書館協議会
鳥取県公共図書館協議会 鳥取県立図書館／後援：公益社団法人日本図書館協会